

電気自動車・再生可能エネルギー・SDGs を鉱物調達の視点から再検証するモニタ リング・普及啓発・提言活動

活動地域  フィリピン、インドネシア、エクアドル、日本全域

ひろげる助成

2年目

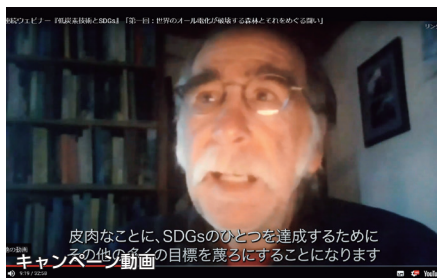
調査研究

オンラインウェビナー
延べ参加者 **477人**

国際会合での情報発信 **127人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **35%**



課題

気候変動対策として電気自動車等の需要が急速に拡大しているが、その生産に必要なリチウム・ニッケル・銅の獲得のため、拙速かつ破壊的な鉱山開発が進んでいる。

目標

「責任ある鉱物採掘」が資源開発セクターの標準となり、気候変動対策などの切迫した問題に対して十分な環境配慮がされて採掘された鉱物が活用される状態を目指す。

活動内容と成果

- 連続ウェビナー「低炭素技術とSDGs—気候対策だけでは済まされない企業の社会的責任とは」(全3回)を開催
- キャンペーン動画「カルロス・ソリージャ氏の語るトランジションと鉱物需要がもたらす危機」、「悲鳴を上げるパラワン」を制作し、オンライン配布を開始
- 普及啓発活動に資するためのキャンペーンウェブサイト制作
- 協力団体と戦略会合を開催し、NGO間の連携を強化
- 鉱山開発にかかわる企業1社と面会を実施
- Electronics Watch主催国際会合へ参加し、127人へ国際発信



キャンペーンウェブサイト

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

新型コロナウイルス禍により引き続き現地調査・取材ができず、代替手段を模索しながらの活動となった。

工夫した点

他団体やカウンターパートとの連携強化にこれまで以上に重点を置いた。また、オンライン上の情報発信手段を整えた。



今後の展望

現地訪問により見えてくること、伝えられるものがあるという認識は変わらず、次年度は現地渡航ができることを期待する。渡航不可の場合も、引き続き関係各所と連携強化し、目標達成にむけ効果的な活動を行いたい。

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町
1-7-11
電話：03-5209-3455
E-mail：office@parc-jp.org
HP：http://www.parc-jp.org/

